



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



## 「永遠の0(ゼロ)」の撮影が行われる

11月11日～13日に、ベストセラー小説「永遠の0」のテレビドラマ撮影が、かのやばら園、基地史料館、地下壕電信司令室跡、平和公園などで行われました。これは、テレビ東京開局50周年の特別ドラマの撮影で、鹿屋基地から飛び立った特攻隊員の孫2人が祖父の足跡をたどり鹿屋の地を訪れる設定でロケが行われました。撮影を記念して、12日に桐谷健太さんと広末涼子さんらによる「ラブアンドピース」という品種のバラ植樹とトークショーが行われました。2人とも「ばら園は広い、カンパチが美味しい」など地元ネタで観客を楽しませていました。ドラマは来年放送予定です。



## 拉致被害者全員の帰国を願い、鹿屋市で集会！

11月20日、市文化会館で「拉致問題を考える国民の集い in 鹿屋」が政府拉致問題対策本部などにより開催され、約650人が参加しました。一人でも多くの方に拉致問題について理解を深め関心を高めていただくことを目的に開催。DVD上映、拉致被害者家族会の飯塚繁雄代表から現状報告、増元照明氏、平野フミ子氏からメッセージのあと、最後に鹿屋女子高等学校の音楽部の皆さんと参加者が被害者全員の帰国を願って「ふるさと」を合唱。壇上で歌う家族会の皆さんの姿に、こらえきれず涙を流す人も見られました。



## 鹿屋 みなとまつりを開催

11月3日、古江町の鹿屋市漁協で「第11回鹿屋市漁協みなとまつり」が開催されました。当日は、かのやカンパチの解体ショーや試食、市漁協青年部を中心に考案されたご当地丼の「カン・パエリヤ」と大名汁販売のブースに行列ができていました。また、恒例のカンパチつかみどりは、素早い魚を子どもたちは必死になって追いかけていました。



## 鹿屋・大隅の商工業を紹介

11月2日・3日の2日間、霧島ヶ丘公園で「第5回かのや産業フェスタ」が開催されました。大隅半島各地の商工業者が集結した同フェスタには、98店が出店。集まった約24,000人の来場者は、産業フェスタでしか味わえない商品や、スタンプラリーなど盛りだくさんの内容を満喫し、また出店者も異業種間での交流を図っていました。



## 秋を感じながらウォーキング

11月2日、霧島ヶ丘公園周辺で「第12回かのや・ばら祭りウォーキング大会」が開催されました。参加者の健康増進や交流を目的に行われる同大会に、ウォーキング愛好者など約200人が参加。参加者は、特設のウォーキングコースで景観を楽しみつつ思い思いのペースで歩き、さわやかな汗を流しながら、スポーツの秋を楽しんでいました。



## 吾平 下名東町内会が鍋合戦で優勝

11月30日、吾平中央公園周辺で「第4回美里吾平元気市～鍋合戦編～」が開催されました。会場では地元特産品の販売やステージ発表が行われたほか、10町内会対抗の鍋合戦が行われました。あいにくの雨となりましたが、家族連れなど市内外から多くの方が来場し、山太郎ガニやイノシシ肉を使った鍋など趣向を凝らした鍋に舌鼓を打っていました。



## 鹿屋 商店街が多くの人でにぎわう

11月24日、中央地区商店街で「第36回鹿屋市秋まつり歩行者天国」が開催されました。商店街約800mが歩行者天国となり飲食店など約80店舗が軒を並べたほか、ステージイベントやダンス披露、Show-1グランプリ地方大会などが行われました。また、市内高校生による飲食物などの販売もあり、家族連れなど24,800人の観客でにぎわいました。



## 夜の図書館に美しい音色が響く

11月16日、市立図書館で「夜の秋の音コンサート」が行われました。これは閉館後のいつもとは雰囲気異なる図書館で音楽を楽しんでもらおうと行われたもの。当日は、鹿屋を中心に活動する4人の演奏家がカノンやアメイジンググレイスなど全10曲を演奏。約200人の観客は図書館に響く美しい音色に酔いしれていました。



## アジア・太平洋農村研修村20周年を祝う

11月22日、アジア・太平洋農村研修村20周年記念フェスタが開催されました。式典では、同施設の開設に尽力された方や、研修で訪れた外国人からのメッセージなどが紹介されました。また、屋外では高隈地区コミュニティ協議会設立準備委員会メンバーにより特産品や新米が販売されたほか、世界の音楽もステージで披露されました。



## 激走！小学校区対抗駅伝大会

11月16日、霧島ヶ丘公園で「第5回小学校区対抗かのやローズヒル駅伝大会」が行われました。今年は22小学校区から20チームが出場し、13区間を小学生から社会人までが疾走。懸命にたすきをつなぎました。Aクラス 1位＝西原台、2位＝田崎、3位＝西原 Bクラス 1位＝大始良、2位＝下名・鶴峰、3位＝申良



## 肝属地区のお茶の銘柄確立を目指す

11月15日、「第15回肝属地区茶業振興大会」「きもつきのお茶祭りinかのや」が霧島ヶ丘公園で開催されました。これは肝属地区のお茶の銘柄確立や消費拡大を目的に行われたもので、市での開催は5年ぶり。当日は功労者表彰のほか、深蒸し茶の試飲なども行われ、参加者からは「甘みがあり美味しい」という声があがっていました。